

チム九

印刷を支え加工を活かす

事務所
SONGNOK
NILMANEE

総務部に所属するソンノークニンマニーさん。主にタイ人技能実習生の通訳や、生活面・業務面のサポートを担当し、実習生が安心して働ける環境づくりを目指しています。今回は日本とタイとの文化や価値観の違いを埋める役割を担って実習生の成長を支援しながら、会社全体の業務効率向上にも貢献するソンノークニンマニーさんの素顔に迫ります。



旭紙工株式会社へ入社しようと思った理由を教えてください。

タイ人技能実習生が多く働いており、自分の語学力、タイと日本の文化を理解する力を活かせると思ったからです。タイ人実習生が困っているときにサポートして、安心して働けるよう手助けできる仕事に魅力を感じました。多国籍な環境で働く中で、私自身も新しいことを学び、成長できる機会があると実感する毎日です。職場の雰囲気も良く、実習生と社員との間に信頼関係を築ける環境も整っており、ここで経験を積みながら自分のスキルをさらに高めていきたいと思っています。

仕事でやりがいを感じる瞬間はありますか？

タイ人技能実習生から「ありがとうございます。ありがとうございました」と感謝の言葉をもらえる瞬間です。また、毎日異なる問題や状況に直面する中で「今日は何が起きるのだろう」と常に新鮮な

気持ちで仕事に取り組むことが、楽しさややりがいにつながっています。実習生と日本人社員との架け橋となつて信頼関係を築く役割を果たせることに満足感を抱きながら、私自身、多くの学びを得て成長していると実感しています。

これまで忘れられない失敗を経験したことはありませんか？

2つあります。1つは初めてタイ人技能実習生の通訳をした際、専門用語の理解が不十分で正確に伝えられずに誤解が生じ、作業に影響が出たことです。この経験を機に専門知識を深める努力をしました。もう1つは2024年10月、会社が非常



に忙しい時期に上司から夜勤の派遣スタッフを手配するよう依頼されていたものの、夕方になってその依頼を忘れていたことに気がつき、スタッフ不足で作業が滞ったことです。自宅から手配してどうにか間に合わせましたが、この失敗から、依頼を受けたらすぐに行動する大切さを学びました。

事務所職の好きなところを教えてください。

自分のペースで計画的に仕事を進められるところです。通訳業務以外にも資料作成やデータ整理といった、デスクワークが含まれており、細かい作業を丁寧に仕上げることで達成感を得られるのも好きな部分です。また、問題が発生した際には、同僚と協力して解決策を考えるプロセスも楽しんでいます。会社全体の運営を支える役割を担っていることに誇りを感じ、日々の仕事に誰かの役に立っていると思えることが、モチベーションにつながっています。

旭紙工のどういったところが「良いな」と感じますか？

社員一人ひとりの声に耳を傾け、常に改善を進めているところです。特にタイ人技能実習生が、仕事面だけでなく生活面でも安心して過ごせるよう、支援体制が整っていることに感銘を受けました。また、日本人社員と技能実習生との文化の違いから生じる課題に対し、会社全体で柔軟に対応しようとする姿勢も素晴らしいと思います。班長朝礼の際に自由に意見を述べることでできることや、上司や同僚とのコミュニケーションが取りやすい環境も、働きやすさを高める要因だと感じています。

最後に、今後の目標を教えてください。

タイ人技能実習生が日本での生活や仕事で、安心できる環境を整えることが目標です。そのために、まずは自分自身の日本語能力をさらに高め、専門知識や法律面の理解も

深めていきます。また、日常の問題を解決するだけでなく、実習生が長期的な目標を掲げて自信をもってキャリアを築けるようサポートしていきたいと考えています。そうしてタイと日本の協力関係をさらに深め、両国の架け橋として貢献することが大きな目標です。最終的には、自分自身も多くの経験を積み、個人としても成長し、より多くの人々に役立つ存在になりたいと思っています。

「文化や価値観の違いから生じる課題を減らし、日本人社員と実習生との間に信頼関係を築ける橋渡し役としての役割を果たしたい」と語るソンノークニンマニーさん。今後のさらなる活躍が期待されます。

企業情報

- ◆ 創立年：1983年1月
- ※ 創業：1963年
- ◆ 年商：17.6億円
- ◆ 従業員数：200人

ビジョンとパッション

第11弾

旭紙工の幹部たちが掲げるビジョンには、誠実さとパッションが息づいています。

顧客のストレスを軽減し信頼を得る姿勢は、旭紙工ならではの強みではないでしょうか。今回ご紹介するのは、営業本部長である藤井さんの熱意。その熱意がどのように会社を支えていくのか、詳しく掘り下げていきます。

旭紙工の強み

印刷の手配から 出荷発送業務まで 一貫して対応可能

お客様を第一に考えた上で、現場が無理なく無駄なく業務を遂行できることが旭紙工の強みです。印刷の手配から、製本加工、アッセンブリー、出荷発送業務まで、旭紙工だけで完結が可能。デジタル化が進み、印刷業界がだんだんと目減りしている中、一貫して引き受けることでお客様の手間を省けます。そして、「旭紙工に任せれば、なんとかしてくれる」と思っていただき、お客様のストレスを減らすことこそが強みなのです。



クリーンルーム

旭紙工の ここがすごい!

今後長期的に成し遂げたいこと

新規事業への 取り組み強化

強化したい新規事業が3つあります。1つ目は、2023年の秋に新設したクリーンルーム事業です。医薬部外品や化粧品などのパッケージの組み立て作業、セットアップがクリーンルームで可能になりました。また、クリーンルームでの作業が必要ない通常の製本も行っており、お客様に喜ばれています。

2つ目は、ピロー包装機です。関西に出回っておらず、ピロー包装機を扱っている業者が少ないため、新規参入しました。現在は雑貨系のピロー包装の依頼が多いのですが、食品の受注も増やしていきたいと考えています。

3つ目は、2024年6月に導入した上製本です。全国で上製本ができる業者が減っている中、社長の「受注は少なくても、もっといろいろなことができる会社にしたい」という思いから設備を増設しました。新たなジャンルとして伸ばしていきたいと考えています。

藤井さんの 考えとは?

営業本部
本部長

ふじい やすゆき
藤井 靖之さん



ピロー包装機

仕事をする上で大切にしている考え方

逃げずに受け止めるのが モットー

お客様の要望に対して「できない」とは言わずに、どうしたらできるかを考えることが必要です。逃げずに一旦受け止めて、お客様へ適切な返答をします。また、後進となる若手社員も同じような考え方ができるよう、きちんと伝えて指導するのも私の役目です。

本部長としての信念

誠実に、 一つひとつの作業に こだわる

お客様に対して誠実でありたいと考えています。いい加減な仕事をせず、嘘をつかないことが信念です。営業トークとして取り繕うのと、適当にあしらうのではまったく違います。また、ものづくりにこだわるのが製造の現場。一つひとつの工程、一つひとつの作業にこだわり続けたいと思います。

